

張我軍編著

七版
日語基礎讀本

北平人人書店出版

張我軍編著

七版
日語基礎讀本

北平人人書店出版

人人書店出版

日文研究
書籍目錄

一、日語基礎讀本 自修教授參考書

張我軍編 價七角

二、高級日文自修叢書

張我軍譯註(已出二種) 各冊五角半

三、自修適用 高級日文星期講座 版權

張我軍講解

第一冊 價五角

第二冊 價六角

張我軍著

四、現代日本語法大全 (附文語法)

分析篇 價一元二角

運用篇 價一元一角

五、日文與日語合訂本

第一卷 價二元

第二卷及第三卷 各價一元五角

之證

(究必印翻有所權版)

日語基礎讀本 定價銀七角

著者 張我軍

發行者 洪 標

印刷者 順城印書局

發行所 人人書店

電話南局二四五

中華民國二十年六月初版
中華民國二十一年七月增補訂正再版
中華民國二十三年七月訂正三版
中華民國二十四年五月新訂四版
中華民國二十五年三月五版
中華民國二十五年五月六版
中華民國二十五年五月七版

新訂版序

著者認爲，以讀書爲目的而習日文，第一不可不注重文法。學習文法的方法，須溶化全部文法於讀本之中，使學生不感枯燥，不感困難，容易記住，容易應用，然後始能收到美滿的結果。著者便在這種信仰之下，編著了本書，結果，著者自己雖未十分滿意，實行的結果却不算壞，此事有這部書教出來的許多能讀日文書報的人可以證明。

然而這本書，此次是第四版，而且稱之爲新訂版，可知其有極大的變動了。第一版出後至出第三版爲止，雖每次重版，皆有若干刪改，但只是補漏刷牆之類；此次則可以說是重蓋，內容已改得和第三版以前大不相同了。因爲第二，第三版時所想要改而未果的，和第三版以後所感到非改不可的，非補不可的，這次斷然與以總清算，想改的，想補的，都改而且補了，結果便等於從新編著。

著者用本書教授日文，前後不下二十遍，這次的大更改便是這二十遍的成績。自己當然是覺得改的結果不會壞，但這也只有再用這個新訂版教授幾遍，結果如何始能斷定。新訂版與第三版之異點，略舉如下：一，增加基本課十五，合爲五十五課；二，減少口語文範，增加文語文範；三，增加例句，整理次序。四，第三版各課有語法摘要，新訂版則取消之，因爲三版的語法摘要，言之過簡，無補於實際，故此次決編現代日本語法大全，與本書相輔而行。五，新版的課題（舊版稱爲練習）增加到五百左右。以上是新舊版不同之大者。

本書全部百五十餘頁，分爲三部，第一部共十課，專課文字與發音，最多十小時須授畢。第二部共四十五課，講授基礎語法，爲本書之重心，約六十小時授畢；第三部共二十二課，爲文範，以口語

爲主，文語副之，約授四十小時。學生可在這一部分，應用其在基礎語法篇所學之文法，同時可以學習文語文法之大略。讀完本書之後，可能自閱淺近的日文書籍，若能再授以原書一二冊更佳。用本書爲課本者須注意下列數事：

一、本書是溶化文法於課本之中的，故講授時須以文法爲主，以課本中之句爲文法之例。若不講授文法，則失本書之意義。

二、讀本書者，須以本書之姊妹篇現代日本語法大全爲參考書，因爲書中所需之文法上的規則，全部可求得之於該書。

三、以本書爲課本時，須逐課將應交教師批閱的課題做好，隨時交教師批閱；不可不做，亦不可積存數課，一次做交。不做課題，是要大減效果的。

四、採用本書爲課本的教師，對於書中有疑問，或有意見時，請賜函由書店轉交著者，自當奉覆。

五、本書第二部基礎語法各課中之句，十分之九以上是著者自造的，論其意思，有些是很可笑的也未可知。但著者受文法上繁簡次序以及單語的限制，無中生有，要造出那樣多的話，實在已是不容易；著者的苦心也大半用在這裡，請讀者不可過於吹求。

著者數年來，在學術以及其他方面，受益於周豈明教授與錢稻孫教授者甚多，愧無以爲報；現在，謹將這部費了數年的心血造成的這部書獻於二位先生之前，藉表感銘之忱。

（一九三四年六月，記于北平）

第五版

僅更改印刷形式，訂正誤字，
內容一概仍舊，特此聲明。

日語基礎讀本目次

第一部

文字與發音

(一)

第一課

片假名清音

(二)

第二課

平假名

(四)

第三課

撥音

(六)

第四課

濁音

(七)

第五課

半濁音

(七)

第六課

促音

(九)

第七課

拗音

(一〇)

第八課

長音

(一二)

第九課

轉呼音

(一三)

第十課

略字與合略字

(一四)

第二部

基礎語法

(一五)

第十一課

名詞，代名詞，助詞「ト」「ノ」，連語

(一六)

目次

日語基礎讀本

第十二課	數詞	(一七)
第十三課	形容詞	(一九)
第十四課	四段活用動詞，助詞「ガ」「チ」，句	(二〇)
第十五課	一段活用動詞，助動詞「ナイ」	(二一)
第十六課	一段活用動詞，變格活用動詞，助詞「ニ」，副詞	(二二)
第十七課	「アル」「チル」「キル」，助動詞「マス」，助詞「ハ」	(二九)
第十八課	「ナイ」，助動詞「ン」，助詞「モ」，接續副詞	(三〇)
第十九課	「デアル」「デス」等，「ナ」	(三一)
第二十課	「デナイ」等	(三三)
第二十一課	「デキル」「テタル」「ツツアル」「テアル」，助詞「カラ」「マデ」	(三六)
第二十二課	形容詞音便，助動詞「デ」，助詞「ヨリ」	(三七)
第二十三課	動詞音便，助動詞「タ」	(三九)
第二十四課	預定句，助動詞「ウ」「ヨウ」，助詞「ヘ」	(四〇)
第二十五課	推想句，助動詞「ラウ」	(四一)
第二十六課	推想句，助動詞「ラシイ」，「ヤウダ」，助詞「ダケ」	(四三)
第二十七課	助詞「デ」，「サウダ」「デシマウ」	(四五)

第二十八課 「…ヲ以テ」「…爲ニ」，助動詞「マイ」……………(四六)

第二十九課 被動句，助動詞「レル」「テレル」，助詞「コソ」「バ」「ガ」……………(四八)

第三十課 「…ノ爲ニ…」^{レル}「…ニヨツテ…」^{レル}，助詞「サヘ」……………(四九)

第三十一課 能力句 一，助詞「から」……………(五一)

第三十二課 能力句 二，「出来る」，助詞「も」「ばかり」……………(五三)

第三十三課 能力句 三，「…ことを得る」……………(五五)

第三十四課 使役句一，助動詞「せる」「させる」……………(五六)

第三十五課 使役句二，助動詞「しめる」，「なり」……………(五八)

第三十六課 希望句，助動詞「たい」，助詞「か」……………(五九)

第三十七課 疑問句，形容動詞，助詞「か」「な」「は」「し」「さ」……………(六一)

第三十八課 命令句，助詞「よ」「ろ」「し」……………(六二)

第三十九課 請求句，「…てくれ」「…て下さ」……………(六四)

第四十課 禁止句，助詞「な」「ね」「や」「ぞ」「のに」，「…てはならぬ」……………(六五)

第四十一課 「…てはいけな」……………(六五)

反禁止句 「…なくてはなりません」「…ねばならな」「…な
ければなりません」……………(六八)

第四十二課 敬語一，助詞「しか」「しか……なん」「づつ」……………(六九)

第四十三課 敬語二，敬語動詞……………(七一)

第四十四課 敬語三，敬稱の三法……………(七二)

第四十五課 敬語四，謙稱の三法……………(七四)

第四十六課 前提句一，用言條件形，「たら」「なら」「と」「…つもりだ」

「…とふ事です」……………(七五)

第四十七課 前提句二「…には」「…爲には」「…かと云へば」「…かとふに」

，「…ざるを得なす」，「…譯には行かぬ」，「…とは限らぬ」，

「…にも拘らず」，「…ずに居られぬ」……………(七七)

第四十八課 逆態前提一，助詞「けれども」「と雖ども」，「…ことになつた」

，「…ことにする」「…筈です」，「…筈はなす」，「…とは云へ」，

「…にせよ」「…にしる」「…べからざる」，「…より外はなす」……………(七八)

第四十九課 逆態前提二「…とも」「…にしても」「…に過ぎなす」助詞「など」

，「…に定つてゐる」「…には相違なす」，「…からである」……………(八〇)

第五十課 「…に他ならない」，「…かも知れなす」，「…云ふ迄もなす」……………(八一)

第五十課

「……以上は」「……限りは」「……度に」「……毎に」「……と共に」……………(八二)

第五十二課

「……と同時に」「……か……な」「……や否や」「……か否か」「……かどうか」(八四)

第五十三課

「……には及ばなし」「……からとて」「……どころでなく」「……どころか」「……程」「……すればする程」……………(八五)

第五十四課

「……に代り」「……の代りに」「……たる」「……としての」……………(八六)

第五十五課

「……てやる」「……て上げる」「……て下さる」「……てくれる」「……て貰ふ」「……て戴く」……………(八七)

第三部

模範文選

……………(八九)

第五十六課

春……………(九〇)

第五十七課

一口ばなし……………(九一)

第五十八課

日本地圖……………(九二)

第五十九課

停車場……………(九三)

第六十課

負け嫌ひな蛙……………(九五)

第六十一課

窓……………加藤 武雄(九七)

第六十二課

地球の話……………(九八)

目次

日語基礎讀本

第六十三課	「點心」自序	芥川龍之介(一〇〇)
第六十四課	ヨオロッパ文明の行詰り	高須芳次郎(一〇一)
第六十五課	正直であれ	吉田絃二郎(一〇四)
第六十六課	浪漫的結婚と倫理的結婚	米田庄太郎(一〇九)
第六十七課	思想	金子馬治(一一〇)
第六十八課	社會思想の部類	高島素之(一一四)
第六十九課	論理學の性質(上)	速水 滉(一二八)
第七十課	論理學の性質(下)	速水 滉(一二二)
第七十一課	晩秋の日	小川未明(一二六)
第七十二課	社會思想史序説	波多野鼎(一二七)
第七十三課	風	徳富蘆花(一二二)
第七十四課	芥川龍之介君よ	菊池 寛(一二三)
第七十五課	要談と閒話	徳富蘇峯(一三四)
第七十六課	うれしさ	幸田露伴(一三六)
第七十七課	法律ノ分類	中村進午(一三八)
附	本讀本自修方法	(一五四)

第一部 文字與發音

圖 音 十 五

第一課

片^{カタ}假^カ名^ナ
清^{セイ}音^{オン}

ワ ラ ヤ マ ハ ナ タ サ カ ア

キ リ イ ミ ヒ ニ チ シ キ イ

ウ ル ュ ム フ ヌ ツ ス ク ウ

エ レ エ メ ヘ ネ テ セ ケ エ

ヲ ロ ヨ モ ホ ノ ト ソ コ オ

練習一、讀音

カ蚊	ケ毛	アサ朝	ケサ今朝	イシ石	ウシ牛
キ樹	ス醋	クサ草	アシ足	サケ酒	オケ桶

練習二、讀音

タ田	テ手	トキ時	ヒト人	ナチ父	ハハ母
ハ齒	ヒ日	ツキ月	ホシ星	アニ兄	アネ姉

練習三、讀音

メ眼	マユ眉	ハル春	ナツ夏	アキ秋	フユ冬
エ畫	ヲ尾	ヒル晝	ヨル夜	クルマ車	アタマ頭
ナチ位置	ナチ委託	ライメイ雷鳴	メイワク迷惑		

練習四、字形比較

アマヤセ	ウソフヲヲ	エエユコヨ	ケクダ	ミシツソリ
ナチテラ				

歌 波 呂 伊

第二課

平假名

あ 36 や 29 ら 22 よ 15 ち 8 い 1

ひ 44 さ 37 ま 30 む 23 た 16 り 9 ろ 2

も 45 き 38 け 31 う 24 れ 17 ぬ 10 は 3

せ 46 ゆ 39 ふ 32 る 25 そ 18 る 11 に 4

す 47 め 40 こ 33 の 26 つ 19 を 12 は 5

み 41 え 34 お 27 ね 20 わ 13 へ 6

し 42 て 35 く 28 な 21 か 14 と 7

(え・お・れ・と・ま)

練習一、讀音

はた旗	いろ色	へい堀	とり鳥	ほね骨	わた棉
はる春	よる夜	かた肩	やま山	うち内	そと外
てき敵	めし飯	うた歌	ふえ笛	のほら野原	

練習二、讀音

ひま閑	ひも紐	せみ蟬	うら裏	おもて表面
ゆみ弓	こしかけ腰掛	いす椅子	つくゑ机	
わたくし私	あなた貴方	あのひと彼人	これ此	
それ其	あれ彼	なに何	ここ此處	そこ其處

練習三、字形比較

りり	へへ	つつ	やや	にに	かか	きき	うう
いこてと	ろるる	はは	とも	ぬめあ	われね	ささま	うら

第三課

撥音 パテ
オン

ン (片假名)

ん (平假名)

練習一、讀音

練習二、讀音

ホン本 センセイ先生

たんけん探検 かんじん感心

シケン試験 コンナン困難

あんじん安心 のんき呑氣

テンキ天氣 コンニナ今日

かんじん堪忍 じんたい忍耐

キキン饑饉 シンタイ身體

けんさ検査 こくみん國民

モン門 インキ (ink)

まんいん満員 えんとつ烟突

テンシン天津 カントン廣東

ねんねん年々 うんうん云々